

🌸 オンリーワンのサクラの里をつくるワークショップ

1. ワークショップの目的

市木サクラを取り巻く課題を共有し、桜ビジョンの理念「市民みんなで作るオンリーワンのサクラの里」実現のため、誰が、どのような取り組みを、いつ実施していくかを話し合います。

2. ワークショップの流れ (80分)

(1) グループワーク① 取り組み例の確認・新規アイデア出し (15分)

- 桜ビジョンの第3章「戦略」で掲げられた取り組み例（取り組みカード）を確認する。

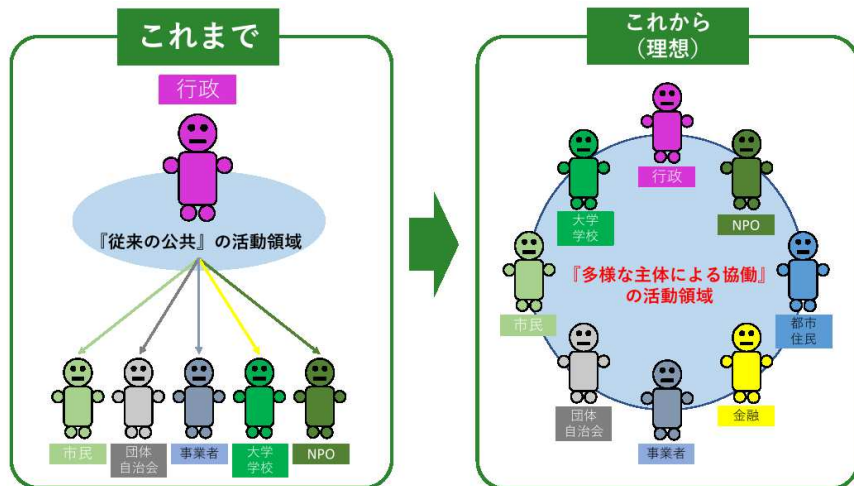
取り組み	
1 地域にあったサクラの計画的な植樹	
目指す将来像	“適地適桜”のサクラが未来に継承されるまち
取組方針	“適地適桜（てきちてきおう）”
実施主体	行政 桜協会 団体（ ） 市民 事業者 その他（ ）

- 身近にあるサクラの状況を顧みて、浮かび上がる課題から桜ビジョンに掲げられた取り組み以外のアイデアを出し合い、白紙の取り組みカードに記入する。

その他の取組のアイデア	
目指す将来像	
取組方針	
実施主体	行政 桜協会 団体（ ） 市民 事業者 その他（ ）

(2) グループワーク② 実施主体を考える (15分)

- すべての取り組みについて、誰が「実施できるか」を考え、取り組みカードの「実施主体」に「○」つける（複数可）。
- 活動が持続可能なものとなるよう、みんなが自分事として積極的に関われるよう考える。



※第2次丹波篠山市環境基本計画で掲げる「協働を基本とした実施体制」を参考に作成

(3) グループワーク③ 時期×難易度で分類する (15分)

- すべての取り組みについて、実施する時期と難易度の2軸で分類する。

時期／難易度	すぐできる	頑張ればできる	とても難しい
短期 (～3年程度)			
中期 (3～10年程度)			
長期 (10年以上)			

(4) グループ間の情報共有 (15分)

- 他のグループの分類を確認し、共有する。

(5) 全体での意見交換 (10分)

- 市民みんなに推奨する重点的な取り組みを選定する。

(6) マイアクション宣言 (10分)

- それぞれの立場から「率先してできること」一つにマークし、他のメンバーと共有する。